

令和五年四月二十四日提出
質問 第五四号

防衛力強化に係るシミュレーションに関する質問主意書

提出者 原口一博

防衛力強化に係るシミュレーションに関する質問主意書

岸田総理大臣は、今般の防衛力強化の検討に際し、「極めて現実的なシミュレーションを行った上で、必要な防衛力の内容を積み上げた」（令和五年一月二十六日衆議院本会議・岸田総理大臣等）旨述べている。しかし、政府が示したシミュレーションの資料（令和五年二月二十二日衆議院予算委員会理事会・政府提出）からは、現実的かつ精緻な検討が行われたことが全く読み取れず、この説明は、到底、国民が納得できるものではない。そこで、以下質問する。

- 一 このシミュレーションは、政府のどの機関が、どの程度の期間をかけて行ったものか。
- 二 このシミュレーションは、どの程度の数のパターン行ったのか。
- 三 このシミュレーションの各シナリオ、結果その他その内容は、特定秘密に指定されているのか。
- 四 このシミュレーションの中に、石油・天然ガスの輸入が途絶又は著しく困難となった場合を想定したものがあるか。

五 仮に問四の答えが「ある」であるならば、当該シミュレーションの中に、次のものはあつたか。

- 1 台湾海峡有事あるいは中台間の緊張の激化（例えば中華人民共和国による台湾の封鎖。2において同

じ。)により台湾付近の民間船舶の航行が困難になったことに伴うもの

2 台湾海峡有事あるいは中台間の緊張の激化が起こり、その際に日本への石油や天然ガスの輸出国が中華人民共和国を支持し、日本への輸出をしない政策をとったことに伴うもの

六 このシミュレーションの中に、中華人民共和国及びロシアとの間で同時に有事となった場合を想定したものがあつたか。

なお、問四から問六は、政府がそれぞれの条件の下でのシミュレーションを行った事実があるかを問うものであるので、「仮定の質問には答えられない」との答弁をすることがないようにされたい。

右質問する。